

令和7年度 10月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数	19回
2 延べ従事補導委員数	114人
3 相談件数	0件
4 補導した少年数	0人
5 声かけ人数	369人



10月の活動日誌から

10月1日（水）

6班（Y・H）記

巡回経路

大型スーパー → 市民交流ひろば → 大型スーパー内フードコート
→ 同ゲームコーナー1 → 同ゲームコーナー2 → カラオケ店

活動のようす

当日は、肌寒い中で集合し、高瀬小学校・浅間中学校の先生とPTAの方との合同の巡回となりました。時節柄、高校により文化祭などの行事が重なっていることから、市民交流ひろばでは、子どもの姿は見られませんでした。大型スーパー内フードコートおよびゲームコーナーで声をかけさせていただきましたが、問題となる事案はありませんでした。カラオケ店では、スタッフの方に話をうかがいました。時々、高校生が身分証明（学生証）が提示しないことがあるようですが、問題となることはなかったようです。巡回終了後、帰路に着くころ雨が降り出しました。

10月2日（木）

専門補導委員 記

巡回経路

生涯学習センター → 野沢多目的広場 → 泉団地内公園
→ 泉野団地内公園 → 泉児童館

活動のようす

つい先ごろまでの猛暑が懐かしく思えるほど一気に秋めいてきた。泉小学校の生徒指導担当の先生にも参加いただき、街頭補導活動を行った。集合場所の生涯学習センターは、いつも以上に大勢の来館者でにぎわっていたが、その多くは小学生で、数人のグループでゲーム機を囲んでいた。2階の学習室は高校生など、5名の利用者が静かに机に向かっていた。近くの野沢多目的広場の駐輪場には多くの自転車が駐輪されていた。水遊び場には30人を超す児童が楽しそうに遊んでいた。子どもたちを見守っていた保護者の女性に聞いてみると、本日は野沢小学校が参観日であったため、多くの子どもたちがこの施設を利用しているとのことだった。交流施設や人工芝エリアにも、今まで見たこともないほど



多くの児童たちの姿があった。泉小学校区に移動し、泉野団地内の公園に立ち寄った。3



名の児童が、帯同していた先生に驚いたようすで話しかけてきた。1年生と2年生の泉小学校児童で、2年生の男児は、段ボールで作った剣や帽子を見せてくれた。最後に立ち寄った泉児童館では、館の庭で多くの児童が遊んでいた。「今まで熱中症を避けて室内で過ごしていた児童が、やっと外で遊べるようになって安心している」と館長さんが話してくださった。まだ刈り取りが終わらぬ黄金色の稲穂をながめながら、帰路を急いだ。

10月3日（金）

14班（K・T）記

巡回経路

中込会館 → 横町公園 → 橋場公園 → 成田公園
→ 成知公園 → 学童保育 → 生涯学習センター

活動のようす

先日までの残暑も和らぎ、秋らしい気候の中、中込中学校の先生と一緒に中込会館より街頭補導活動を開始しました。中込駅前の歩道には、以前から駐輪違反の自転車が目に付きました。成知公園では、小学生、高校生、親子連れの姿が見られました。小学生の3人はカードゲームをしており、今日は休校だったので、佐久メッセに行ってきたと話してくれました。本日は先生方の会議により、小中学校は休校であると同行していただいた先生からうかがいました。5人で遊びに来ていた高校生も、課外学習で佐久メッセに行ったとのことでした。声かけした児童、生徒たちは、こちらからの問いかけに元気に応じてくれました。学童保育では25名の児童が元気に遊んでいました。小学校が休校のため、昼間は小諸市の懐古園に行ったとのことでした。中込地区の他の公園には、小中学生が休校のためか児童、生徒の姿は見られませんでした。生涯学習センターでは、ゲームをしている小学生、学習している高校生の姿が多数見られました。中込会館に向かう車内からは、多目的広場で遊ぶ小学生の姿が見られました。中込会館に着くころには周囲も薄暗くなり、肌寒く感じました。季節は秋に移り変わっていることを実感しました。今回の街頭補導活動では、問題となる点は見受けられませんでした。

10月6日（月）

5班（T・R）記

巡回経路

大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ パチンコ店 → 仙祿湖公園 → 久保田公園 → ねむのき公園
→ 近津南公園

活動のようす

今日は中佐都小学校の先生、PTA役員の方と一っしょに巡回しました。大型ゲームセンターは、親子連れ、高齢者の方でにぎやかでした。高齢者にとっては、ゲームがリハビリ効果があるとも聞きました。ネットカフェでは、特に問題となる事案はないとうかがいました。隣のゲームセンターに来店客は見受けられませんでした。近くの飲食店の待ち時間にこのゲームセンターを利用する客が相当数あるようです。パチンコ店では店長さんよりお話を聞きました。「若い人の入店時には声かけを行い、年齢確認して18歳未満と分かった人には、お帰りしていただいたこともある」とのことでした。青少年健全育成の趣旨に沿った対応を



してくださっているようです。仙祿湖公園、久保田公園、ねむのき公園は、数名が利用していました。近津南公園では、大勢の児童や保護者が遊具を囲んで過ごしていました。前回の巡視では、アメシロの大群を目にしましたが、今日はアメシロを目にすることはありませんでした。私の思い過ごしかもしれませんが、少し危険ではと思われる遊具が気になりました。もちろん安全を考慮して設置されていることとは思うのですが、今日は元気な子どもさんたち会えてよかったと思います。

10月7日（火）

2班（S・M）記

巡回経路

大型スーパー → 砂田公園 → 大型ディスカウントストア
→ 若宮公園

活動のようす

10月に入り、ようやく秋らしくなってきました。本日は、専門補導委員と補導委員の他に岩村田高校と佐久長聖中学校の先生に同行していただき、巡回活動を行いました。大型スーパーでは、ゲームコーナーで2名の子どもが楽しんでいましたが、いずれも親がそばで見守りながら遊んでおり、安心しました。店員の方から「最近は、トラブル等はありません」とうかがいしました。駄菓子コーナーにジャージ姿の中学生がおり、話しかけるとしっかりした返事をしてくれました。特に問題はなさそうでした。その後、砂田公園に行きましたが、天気が悪いこともあり、人の姿はありませんでした。次に向かった大型ディスカウントストアには、それほどお客は入っておらず、子どもの姿も見られませんでした。店長さんの話では「特別な問題行動はない」とのことでした。最後に、若宮公園に行き、ようすを見ましたが、こちらにも人影はありませんでした。本日は、天気も悪く、あまり人出はなく、問題はありませんでした。

10月8日（水）

12班（T・E）記

巡回経路

生涯学習センター → 野沢多目的広場 → 野沢児童館 → 原公園
→ 城山公園 → 生涯学習センター

活動のようす

久しぶりの晴れ間で暖かい気候の中、野沢小学校の先生にも加わっていただき7名での活動をしました。生涯学習センター「つどいの広場」は小学生を中心に30人ほどがそれぞれ勉強したりゲーム機で遊んだりしていました。2階の「学習室」は、静かな雰囲気の中で15人ほどが利用していました。玄関前で友人と待ち合わせをしていた少年は、「飛行機のパイロットになりたい」と夢を専門補導員に話してくれたそうです。野沢多目的広場の「交流施設」



には15人ほどの小学生が「つどいの広場」と同じように勉強やゲームをしていました。ゴミの置き去りや、私有物での席の占有など気になることもあるようです。広場にある「すべる坂」では混雑や転倒事故などの問題も発生しているようなので対応が必要かもしれません。

野沢児童館は駐車場が混雑しており、車窓から様子を確認し、訪問は見送りました。原公園では子ども5名が元気に遊んでいました。城山公園では小学4年生の女の子2名が専門補導員の声かけに快活に答えてくれました。

10月9日(木)

18班(M・Y)記

巡回経路 浅科支所 → カラオケ店 → 浅科図書館 → あさしな児童館
→ 浅科支所

活動のようす

今回は浅科小学校の先生、浅科中学校から2名の先生が共に巡視活動に参加していただきました。カラオケ店ではオーナーから利用状況をお聞きしました。基本的に会員登録する必要があります、シルバー世代の利用が多いそうです。児童生徒が利用する場合は親の会員カードなどを使用するので問題となるようなこともなく、「市街地の子どもたちと違い遊びに行くところもないので、温かく見守っている」とのことでした。浅科図書館や隣接する穂の香ホールは関係職員の皆さんから「もっと利用してほしい」という声が聞かれました。子どもたちにも「図書館では自由におしゃべりできない」という意識があり、探求的な学習など特別な調べ事での利用に限られてしまうのかもしれないかもしれません。あさしな児童館は相変わらず活気があり、稲刈りが終わった田園風景の中でそこだけ特別エネルギーが渦巻いているようでした。ボールや一輪車で体を動かしたり、輪になって各自好きな本を読んだり、宿題を教え合うグループなど思い思いの活動をしていました。少年センターでまとめられた「〇月の活動日誌」から他地区児童館の様子を知ることができますが、どの地区も児童館がとても大きな意義ある存在になっていることがわかります。

10月10日(金)

13班(T・T)記

巡回経路 中込会館 → 佐太夫町公園 → 中込児童館 → 学童保育
→ カラオケ店 → 橋場公園 → 水上公園 → 横町公園

活動のようす

今回は、中込小学校と地球環境高校の先生との合同活動だった。天気が曇りということもあり、夕方になるとかなり涼しくなっている。そのせいか、7月、8月には人がいなかった公園にもちらほら子どもの姿が見え始めている。佐太夫町公園では、制服姿の男子中学3年生5名が野球をやっていた。いろいろ話を聞く中で、5名のうちの1名が「ジュースの自動販売機の横にゴミ箱があるが、汚くなっているのを見たとき、片づけてきれいにしている」と話してくれた。「とても良いことだね」と伝えた。中込児童館では、親の迎えを待つ子どもたち約80人が元気に遊んでいた。カラオケ店の入口に『見守り110番の店』の書かれたステッカーが貼られていた。気候も良くなり、公園は徐々に人影が見え始めている。

10月16日(木)

16班(K・K)記

巡回経路 コンビニ店 → うすだ健康館 → 切原児童館
→ 臼田図書館

活動のようす

小雨の中、さやか星小学校と臼田中学校の先生方にもご参加いただき、7名で巡視活動

を行いました。コンビニ店を巡回しましたが、子どもの姿はありませんでした。前回の巡視で聞き取りをしていたため、店外の確認のみとしました。うすだ健康館は、有料で施設を貸し出しており、小中学生の使用はないとのことでした。Wi-Fi がつながるこの施設の外で、スマートフォンを利用する中学生が時折見受けられ、行動に注意しているとのことでした。中学校としても、今後、注視していくとのこと。切原児童館は、元気に遊ぶ児童で活気にあふれていました。曜日により児童数にばらつきがあるようですが、うかがった時は13名の児童がいました。土・日は閉館し、他の児童館を利用する体制をとっているとのこと。児童館は2、3名のスタッフで運営しており、各部屋はきれいに整理整頓されていました。最後に臼田図書館にうかがいました。ロビーのフリースペースには、ハロウィンの飾りがされていましたが、子どもはいませんでした。図書館でも子どもは確認できませんでしたが、入試や試験が近づくと、利用が増える傾向があり、土、日は親子の利用が多くなるとのこと。全体的には、雨模様や日が短くなったこともあり、各施設や街頭に子どもは少ない状況でした。スマートフォンが使用できる場所など、意外な場所に子どもが集まっているのではないかと感じました。



10月17日（金）

4班（H・I）記

巡回経路

大型スーパー → 砂田公園 → 近津南公園 → 大型スーパー

活動のようす

本日の街頭補導は、佐久平総合技術高校浅間キャンパスの先生と一緒に行いました。大型スーパーでは、従業員入口から入り、2階のフードコートへ行きました。おひとりのお年寄りから女子高校生のグループ、夫婦らしき人々、幼児連れの方など、いろいろな年代の人が利用していましたが、人数はそれほど多くなく、空いている印象でした。ゲームコーナーでは、高校生や保護者同伴の小学生など数名がクレーンゲームなどを楽しんでいました。小・中学生だけで遊んでいる姿は見られませんでした。その後、2階を巡回し、1階へ行きました。全体的に空いていて、高校生の姿はあったものの、小・中学生だけの姿はなく、特に問題はありませんでした。砂田公園では、父親と2歳くらいの男の子、女子中学生2名が遊んでいました。女子中学生に声をかけると「勉強の息抜きで来た。家は近所で、学校から家に帰った後、おやつを持って公園に来た」と話してくれました。この公園には、小高い丘があり、丘の裏側は死角になるため、未成年の不良行為が行われることがあるのではないかと心配になり、今後、注意していく必要があると思いました。最後に、近津南公園に行きました。2組の母と子の姿がありました。この公園で困っていることはないかを聞くと「遊具からの落下の心配」それ以外に困っていることはないようでした。

10月20日（月）

9班（A・M）記

巡回経路

生涯学習センター → 野沢多目的広場 → 原公園 → 城山公園
→ 中嶋公園 → 生涯学習センター

活動のようす

今回は肌寒さを感じる中での巡回でした。生涯学習センター つどいの広場では、小学生9名がゲーム機などで遊んでいました。近くで勉強中の中学生3名に聞くと、試験が近いそうです。男子高校生3名は、帰宅の送迎車を待っていました。2Fの学習室には人はいませんでした。野沢多目的広場の屋内では、小学生20人ほどがそれぞれゲーム機やカードゲームで遊んでおり、施設内のスタッフに聞くと普段は50人くらいの利用があるそうです。施設屋外では、芝生エリアで小学生が10人くらいの小学生と中学生2名が野球の練習、高校生4名がサッカー練習などで楽しんでいました。城山公園では、広い芝生エリアで中学生6名がサッカーの練習を始めていました。聞けば部員不足で来年からは他校との合同チームになるそうです。原公園と中嶋公園には人はいませんでした。



10月21日（火）

8班（H・M）記

巡回経路

大型スーパー → 大型スーパー内ゲームコーナー → 砂田公園
→ 大型スーパー

活動のようす



今までの暑さが嘘のような寒い日になりました。今日は、専門補導委員と補導委員3名による活動となりました。大型スーパーでは、従業員通用口から入店し、2か所のゲームコーナーを訪問しました。時間帯のせいか、お客さんはほとんどいませんでした。フードコートでは、高校生2名2組の4名が勉強していました。砂田公園では、高校生2名2組の4名がいましたが、そのうちの1名は「野辺山駅から岩村田駅まで1時間30分かけて電車通学している」とのことで驚きました。「これから日が短くなって大変だね」と声かけをしましたが、明るく「大丈夫です」と話してくれました。

10月22日（水）

3班（T・H）記

巡回経路

大型スーパー → 砂田公園 → 市民交流ひろば
→ ミレニアムパーク → 佐久平浅間児童館 → ねむのき公園
→ 大型スーパー

活動のようす

巡回当日は、朝から曇り空で気温も上がりず寒い一日でした。砂田公園では、幼児を連れた親子3人組と中学生女子生徒2名、男子生徒3名が利用していました。男子生徒は、野球部員らしくウインドブレイカーを着用していて、その傍らには野球用具が置かれていました。市民交流ひろばでは、親子2組、女子児童2名、他にも数人の縄飛びをして遊ぶグループが見られました。親子に声かけをすると、暗くなるまでの時間を公園でゆっくりしているとのことでした。ミレニアムパークでは、十数人がバスケットボールとスケートボードに興じていました。佐久平浅間児童館を訪問したのは16:30頃で1年生児童がドッ

ジボール、他の児童らは図書室で学習していました。児童の中には児童館から塾に行き、また児童館に戻ってくるといったケースもあるので、児童の出入りの確認作業が大変だと職員の方が話していました。ねむのき公園には人はいませんでした。

10月23日(木)

19班(S・H)記

巡回経路

望月支所 → 望月歴史民俗資料館 → 佐久良公園 → 大型スーパー
→ 若駒児童公園 → 望月支所

活動のようす



望月小学校と長野西高校望月サテライト校の先生と一緒に活動しました。望月支所を出発し、まず望月歴史民俗資料館へ行きました。館長さんから同じ敷地内にある望月宿公園について伺うと「望月高校だったころは、放課後のたまり場のような状態だったが、通信制の高校になってからはそのような状態はなくなった」とおっしゃっていました。次に訪問した佐久良公園も生徒の遊び場的な場所だったようですが、訪問時、人けはありません

でした。大型スーパーの店長さんから少年の来店についてうかがったところ「生徒だけの来店はほとんどなく、トラブルもほとんどない」とのことでした。若駒児童公園を訪問すると、駐車場が満車状態になっており、公園内では幼い子どもとその母親のたくさんの親子が遊んでいました。公園内にはたばこの吸い殻もなくきれいな状態でした。母親と話をした後、公園を後にしました。望月地区内の児童館・小学校・中学校を車窓から確認し、通学路を通り、望月支所に戻りました。若駒児童公園の他には人けがありませんでしたが、人口減少が影響してのことであつたら、少し寂しさを感じます。

10月24日(金)

10班(S・E)記

巡回経路

生涯学習センター → 野沢多目的広場 → 東田公園 → 原公園
→ 城山公園

活動のようす

朝晩とめっきり寒くなってきたため、屋外で活動する子どもが減り、集合場所である生涯学習センターには大勢の小、中、高校生が勉強をしたり、ゲームで遊んだりしていた。職員の方から話を聞くと、小学生は午後7時ごろ、中学生は午後8時ごろ、高校生は午後9時ごろには帰っているとのことであつた。しかし、中には、午後10時ころまで残っている高校生もいることから、何らかの犯罪に巻き込まれないためにも注意して帰していると説明していた。「つどいに広場」で、施設の電源コンセントにパソコン・スマホ・タブレットやゲーム機などのプラグを差し込んで電気を使用している生徒がいた。電気も財物に当たるので、施設利用者の電気使用について検討して欲しいと思った。多目的広場には、駐輪場に自転車が多数あり、屋外でサッカーやボール遊びなど大勢の小中学生が遊んでいた。屋内には10人程の小学生がお菓子やジュースを持ち込み、くつろいでいた。職員からの話では、寒くなってきたので暖



房を入れている。多い時は60人ほど施設内に集まることもある。今は野沢小学校の児童がほとんどであるが、土・日になると野沢小学校以外の小学生が、親御さんに連れられて来ているとのことであった。その後、東田公園、原公園に行ってみると誰もいない状況であった。最後に、城山公園に行ってみると、小学生女子が3人で話をしていたので、早めに家に帰るように指導した。今日は、岸野小学校の先生との合同の活動で、先生から児童の様子などをうかがう機会があり、とても有意義な活動だった。

10月27日(月)

1班(S・K)記

巡回経路

大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ 小田井児童館 → 曽根公園 → 仙祿湖公園

活動のようす

岩村田小学校の先生と合同で活動を行いました。月曜日ということもあり、各ゲームセンター、ネットカフェ、公園等に小中高校生の姿はほとんどありませんでした。大型ゲームセンターでは、2, 3組の親子連れと5, 6人の成人がゲームをしていましたが、センター内は閑散としていました。小田井児童館では、10名ほどの児童が2名の職員さんの下で静かに過ごしていました。多くは佐久平浅間小学校の低学年児童で、スクールバスで通っている子どもがほとんどであるとのことでした。全体では20数名がこの児童館を利用しているとのことです。職員の方から「元気な子どもは油断して目を離すと、いろいろなところに上りたがるので神経を使う」とうかがって、館を支える皆様のさまざまな配慮に頭が下がりました。また、児童館から習い事に通う児童もいるとのことです。児童の管理を担う職員の皆さんの負担になっているのではないのでしょうか。すでに何らかのルールがあるのかもしれませんが、児童館の有効活用と安全の両立を図る観点から、保護者の同意を得た上で、何らかのルールを決める必要があるのではないかと感じました。

10月28日(火)

15班(O・M)記

巡回経路

中込会館 → 佐太夫町公園 → 横町公園 → 平賀新町公園
→ 野沢多目的広場 → 生涯学習センター → 中込会館

活動のようす

突然、夏から冬のような気候となり、巡回時間内にあっという間に薄暗くなってしまう。本日は、佐久城山小学校の先生1名とPTAの方2名と合同で実施しました。最初に、中込会館の「学習室」を見学、「小学生は午後7時まで、中学生は午後8時まで使用できる」とのことでした。平賀新町公園にいた2名の男子中学生に声をかけると、入っている部活動について「卓球部」、「帰宅部」と答えてくれました。帰り際に「半袖シャツで寒くない？」との声かけに「大丈夫です」との返答がありました。野沢多目的広場では、「人工芝エリア」で10名ほどの小学生がサッカー、「交流施設」で小学生がカードゲーム、高校生が勉強と様々でした。職員に聞くと「小学生は午後5時頃には帰って行き、その後に高校生が勉強をやりに来る」とのことでした。野沢児童館などが入る「子ども・子育ての支援拠点施設」は建設中で、来年4月に完成予定のようです。防犯対策としてライトアップしたり防犯カメラを設置したりするようです。芝生内では、ボール遊びをする子どもでいっぱいでした。その後、生涯学習センターへ移動しました。15名の小学生がおり、中に上手に絵を描いている女の子がいました。「絵がうまいね」と声をかけ、気をつ

けて帰宅するよう話しました。高校生5名にも話を聞くと「ここは落ち着いて勉強ができます」と答えてくれました。

10月30日(木)

17班(k・I)記

巡回経路

臼田交番 → 下の宮公園 → 稲荷山公園 → コスモホール
→ 旧臼田小学校

活動のようす

本日は臼田小学校の先生に同行いただき、いつものコースを巡回しました。まず向かったのは、下の宮公園です。車中からの目視でしたが、1組の親子がブランコに乗って楽しんでいました。次に訪れた稲荷山公園では、木々が色付き始め秋の気配を感じました。夕暮れ時で公園には誰もいませんでしたが、高台から見える蓼科や八ヶ岳連峰の夕日がとてもきれいでした。コスモホールに向かうと、近くの駐車場では、中学校1年生の生徒7人がビーチボールを蹴って遊んでいました。専門補導委員の声かけに子どもたちが集まり、明るくあいさつしてくれました。当日は学校行事のため部活動がなく、公園で遊んでいたとのことでした。その子どもたちは、同行の先生の教え子だと聞いて驚きましたが、親しそうな会話を聞いていると、今でも続く先生と子どもたちの絆にほのぼのとした気持ちになりました。この絆がこれからもさらに太く強いものになっていくことを願いました。最後に旧臼田小学校を訪れると、昇降口付近で祖父母と幼いお孫さん2人が自転車に乗って遊んでいました。孫を見守る祖父母の姿に心が暖まる思いでした。校庭では中学校の生徒6人が、野球をして遊んでいました。現在この中学校の1, 2年野球部員が8人しかいないので、来年度の部活動が心配です。これからも安全・安心な子どもたちの憩いの場が必要だと実感しました。



10月31日(金)

7班(I・H)記

巡回経路

大型スーパー → ミレニアムパーク → 市民交流ひろば
→ 近津南公園 → 佐久平浅間児童館 → ねむのき公園

活動のようす



数日前から気温が下がり、初冬を感じる日でした。稲刈り、脱穀が終わり、「ひこばえ(稲刈り後に株から生えてくる稲の芽)」が出て、あたかも田植え後の水田の様相となった田を眺めながら補導活動に向かいました。予想通り冷雨の公園に子どもの声はなく、ベンチがさみしそうでした。佐久平浅間児童館は、120名以上の児童が利用していて、大変なにぎわいでした。本館に登録している児童は350名にも上るとのことですが、未就学児にも

開放されているとうかがい、職員の方々には感謝の言葉ありません。大型スーパーのゲームコーナーでは、大勢の高校生がハロウィンの装いでプリクラに列を作っていました。フードコートにも、ハロウィンを楽しむ大勢の親子連れの姿が見られました。

10月の活動を終えて 専門補導委員(S・T)記

昭和 100 年(歌は世につれ・・・)

今年、令和 7 年は昭和の元号に換算するとちょうど 100 年となる。その節目の年ということもあるのだろうか、テレビなどでは懐かしい映像とともに昭和の時代を振り返る番組が例年に比べて多いような気がする。

そんな中、懐かしい昭和歌謡の番組をいくつか観る機会があった。昭和の時代は、歌番組が本当に多かった。月曜日から日曜日までの 1 週間、毎日何かしらの歌番組が放送されていた。オーディションによるスカウト形式のもの、応募者が 10 週連続で合格点を取ることでプロ歌手デビューを目指せる内容のもの、男女に別れて対抗戦形式のもの、ベストテン形式の順位付けられた歌を披露するもの、家族対抗形式での歌番組など多岐に渡る番組が放送されていた。放送される時間帯も夜のゴールデンタイム、土曜、日曜の昼の時間帯と様々だった。

流れていた歌は、特に好んで聴いていた歌でもないのに耳はその歌を覚えていた。その曲を耳にすると何故か当時の状況、自分のいた空気感などがよみがえってくるから不思議なものだ。思えば、中学生時代の最終学年の夏、中体連の大会で順調に地区予選を勝ち進み、県大会に臨んだ。下馬評では、優勝候補に挙げられていたわが校、自身も負ける気がしなかった。県大会も順当に勝ち上がり、準決勝を迎えた。実は、この大会中、頭の中で歌のワンフレーズが流れ続けていたのだが、曲名が思い出せない。もどかしさを感じながらも、大会に集中していた。準決勝でもリードして残り 2 イニング、「今日も勝てる」と確信していた。ところが、油断があったとは思わないが、チームメイトの落球があり、その後、逆転を許し 1 点差で敗れた。敗戦し、間もなく頭の中に曲名が思い浮かんだ。なぜ、あのタイミングで思い浮かんできたのか、今もあの歌を聴くと当時のグラウンドの風景、気温、風、ベンチ内の状況などが思い出される。高校時代も歌は身近にあった。辛いクラブ合宿の時に流行っていた歌、街を歩いていると飲食店などから聞こえてくる流行歌、最後の夏の大会、応援団とともにその年流行したチョコレートの CM 曲が吹奏楽部によって奏でられ、背中を押してくれた。その歌を聴くと、やはり当時の汗と夏の陽ざし、入場行進の時の気持ちの高ぶりなどが思い出される。社会に出てからの昭和にも歌があった。カセットテープでお気に入りの曲を流し、海や車で聴いたりした。懐かしい歌を今耳にすると、歌の背景に自分なりの景色が浮かぶ。やがて時代は平成となり、仕事、子育てと、ゆっくり歌を聴く機会も減っていった。機能の衰えは否めないが、曲調の早い歌に歌詞が拾えない歌唱も多くなったようだ。もう一度、昭和 40 年代、50 年代の歌を聴き直してみようか？忘れていた当手を思い出し、忘れていた自分を見つけられるかも知れない。

10月には、補導委員の皆さまの他に小中高学校の先生方および一部の保護者の参加をいただいたの巡回活動となりました。ご多忙の中、ご協力いただいたみなさまにお礼申し上げます。